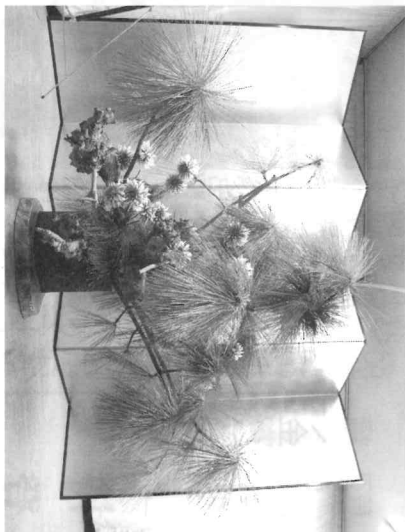
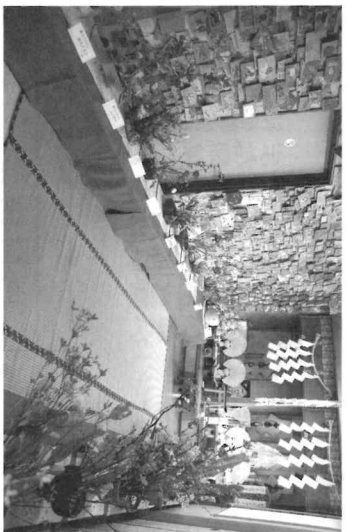


花苜園芸新聞

2021年(令和3年)4月15日



渡邊家元の大作



御神殿に学生の作品を捧げる

創流270年 創美流華道展

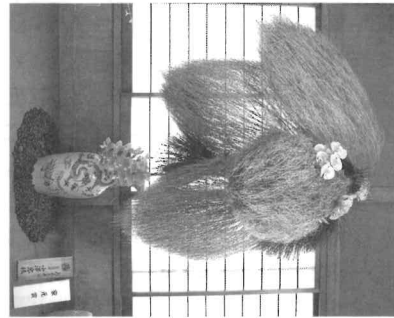
伝統を守り伝える

創流270年記念「第一回創美流華道展」が第26回いはば審査会と名媛が立ない社会情勢の影響で延期したが、収束の目回開催を決定した。

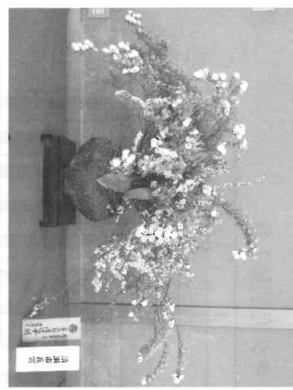
創流270年記念「第一回創美流華道展」が第26回いはば審査会と名媛が立ない社会情勢の影響で延期したが、収束の目回開催を決定した。

おせ3月21日、東京都東久留米市の創美流華道会館で開催された。創美流華道家元十五世渡邊華靖氏主宰、創美流華道会主催。後援は東久留米市、東京新聞。

創美流では、昨年創流270年、流名改称90周年の記念行事を新型コロナ



家元賞(最優秀賞)を獲得した小澤悠枝氏の作品



清瀬市長賞を受賞した渡邊華蘭家元嗣の作品

は、先代が個展で自画像としてしなやかに花を付けるコチアリを合わせ、流の天笠牡丹の和名繁榮への思いを込める出っし、矢車菊を花材に

柳・チューリップ・フリ双主体で春の草花を調和させ東京新聞賞を受賞。

御神殿にはこれから担当する学生の作品が多数捧げられた。

第26回いはば審査会受賞者は次の皆さん。▽家元賞(最優秀賞)は小澤悠枝氏▽東久留米市長賞は岡田風樹▽東大和市長賞は杉本彩風▽奥村山市長賞は渡邊華蘭▽清瀬市長賞は菅野春祐▽西東京市長賞は菅野春祐

学生・子供部門では佐藤瀬干さん(浦和明の星女子中学校3年)が黒目

え華道精進に努める流門人興公筆瓶華図の掛け軸に研鑽の場と捧げる生花を、華壇副家のナウトルズ感拡大により記録に残すため、今年の新生花とともに披露。

会館1階に華道家元華蘭家元嗣はチユリ